

平成21(2009)年3月14日124号

学校だより

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

ご卒業、ご卒業
おめでとうございます

今日の佳き日を迎えられた幼稚園、
小学部6年生、中学部3年生、その
保護者のみなさん、ご卒業、ご卒業
おめでとうございます。

私が子どもの頃、風邪で鼻水
を流し、口で呼吸している赤ん坊のその鼻水を
母親が吸うことで、子どもの呼吸をスムーズにして
いる姿を見たことがありました。その時、私のしか
めた顔を見て否定した親の言葉を、すぐに理解でき
なかった自分ですが、自分が親になり、その母親の
気持ちが痛いほどよくわかるようになりました。

卒業、卒業生のみなさんの中には、記憶がないか
もしれませんが、同じことをご両親から施された人
がいることでしょう。子どもを想う親の気持ちは計
り知れないということです。

ご両親からその計り知れない愛情を受け、これま
で成長してきた小学部6年生、中学部3年生のみな
さん、あなたたちには、私が3年間、ずっと伝え続
けた内容を、ささやかではありますが贈ります。

「言葉」は「心の表れ」です

言葉は人と人の心を繋(つな)ぐ大切な役割をし
ます。言葉は道具であるけれども、その道具の使い
方一つで、人間関係が良くも悪くもなってしまいま
す。自分のちょっとした心遣いで、言葉の使い方は
変わってきます。ちょっとした心遣いがある無しで、
相手に対する労(いたわ)りや思いやりの言葉に変わ
るのです。

さて、今日は、相手の気持ちを考えて、「お礼や感謝
の言葉」を言う節目にあたる日です。相手とは、
今日の卒業を誰よりも祝福してくれているお父さん
やお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんです。

まず、相手の胸の内を察し、あなたたちの感謝の
気持ちを「言葉」で伝えてください。面と向かって
恥ずかしくて言えない人は、手紙でいいと思います。
手紙も中身は「言葉」です。それもできない人は、
自分のおこづかいの中から何かプレゼントをしてく
ださい。そのプレゼントが「言葉」の代わりになり
ます。今日の「ありがとう」の気持ちを、あなたた
ちの心の中にしまっておくことはもったいないこと
です。「言葉」という形で、相手に伝えてください。

たいへんお世話になり
ありがとうございました

ゆっくりと時間が流れているように感じる休日の
ヒューストン。色とりどりの花が咲き、木々の緑が
萌え、「春うららか」という言葉がぴったりの季節
になりました。この春は、殊の外、花粉が多く飛散
しているように感じます。昨年ハリケーンで害を
被った草木は、子孫繁栄のため、例年以上に花粉を
作り飛ばしているのかもしれない。おかげで、私
の体は悲鳴をあげています。

3年前の今頃は、このようなヒューストンの風を
肌で感じ、美しい草木に目をやるなど、自然と親し
む余裕が全くなかったことを思い出します。

この度の定期異動で帰国することが決まり、本日
が最後の土曜日になりました。在籍している子ども
たちやその保護者、教職員、借用校舎の関係職員、
運営委員会や商工会のみなさま、加えて、すでに帰
国した子どもたちやその保護者の温かい支えのおか
げで、これまで勤務することができました。心から
お礼申し上げます。ありがとうございました。

遍く照らす

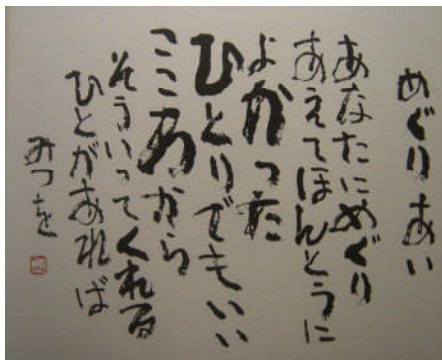


平成18年3月中旬、ヒューストンへ赴任するに
当たり、書の先生が1枚の色紙を贈ってくださいま
した。見慣れているような字ですが、よく見ると、
漢字を構成する偏(へん)や旁(つくり)が少しち
がいます。「へんじょう」「へんしょう」と読み、「遍
(あまねく)く照らす」という意味です。“子ども
たち一人ひとりに焦点が当たるように”“学校の主
人公が一人ひとりの子どもたちであるように”“ま

ず、個を生かし、次に周りを生かし、最後に学校全体を活性化できるように”などいろいろな解釈ができる奥深い言葉で、教育の本質を突く言葉でもあるように思いました。この色紙を子どもたちの学級写真の横に飾り、毎週、土曜日は身が引き締まる思いで子どもたちや保護者に関わり、その夕方には、この字を見ながら、自らを振り返り翌週に生かしていた3年間でした。コンクールの表彰やコンテストの証書の伝達を行ったり、感想文や詩を学校だよりで紹介したりするなど、少しでも機会をとらえて“個を生かす”ことを心がけてきましたが、“あの時、一声かけていればよかった”とか、“5分の時間を惜しんだばかりに・・・”、振り返ってみると、反省することしきりです。

縁（えにし）

国立や私立、都道府県（公立）の義務教育の教員400名以上が、世界中に派遣されていると聞きます。約90の日本人学校、派遣教員がいる約40の補習校の中で、縁（えん）あってこの学校に赴任しました。どのような出会いがあるかととても楽しみにしていました。思っていた通り、人間味溢れ、強い個性を持ったすばらしい人たちにたくさん出会うことができました。



保護者のニーズや子育て、中学高校大学への進学などについて、“校長まで届かない保護者の声は、私から聞いていこう。”と決め、足で稼ぐ？教育相談を心がけました。パトロール当番に来ていただいた保護者との直接対話は、絶好の機会でした。

補習校に対する様々なご意見や子育てなどの課題を持たれていることがわかりました。深刻な場合は、休館の月曜日を教育相談日に当て、三水会センターに来ていただいたこともありました。

土曜日の授業回数が重なるたびに、保護者との距離が近くなっていくことがわかりました。保護者からよく声をかけていただくようになり、そして、人の繋がり、広がり、補習校関係から抜け出し、随分と広がっていきました。

気持ちがとても温かく、思いやりがある補習校の保護者のみなさんが出発点となって、たくさんの人を知ることができ、そして、その人たちからご厚情を賜りました。この縁を大切にしていきます。

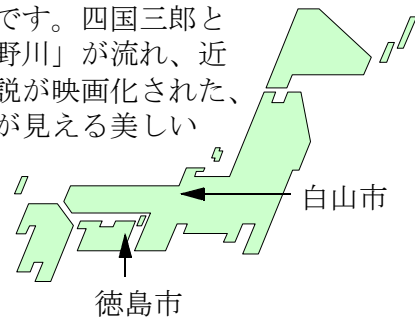
保護者のみなさんと知りあえ、私はヒューストンに来て、本当に良かったと思っています。

私は、ヒューストンで学んだこと、覚えたこと、感じたこと、全て一つ残さず日本に持って帰ります。

このように考えると、この3年間がすべてプラスであり、これからの教員人生にも生かせることと思えます。

私の後任には、石川県白山市から中島 満校長が派遣されます。中島校長は、パラグアイ共和国アスンシオン日本人学校校長を含む、長年の管理職経験と数々の研究歴、講演会の講師歴を持っています。より一層の国語教育の充実、よりよい補習校運営を進めてくださる先生であり、とても心強く思っています。

私の新任地は未定であります。出身地である徳島市に戻ることになります。徳島市は、四国の玄関口で、阿波踊りで有名な街です。四国三郎と呼ばれる大きな「吉野川」が流れ、近年、さだまさしの小説が映画化された、小高い緑の「眉山」が見える美しい街でもあります。



本四架橋（明石と淡路島を結ぶ明石大橋、淡路島と鳴門を結ぶ大鳴門橋）ができた

め、神戸や大阪、京都から徳島へ訪問しやすくなりました。近くにお立ち寄りの際、日本に一時帰国した際など、ぜひ、ご一報いただき、遊びに来てもらえると「縁」がより一層深まるにちがいありません。遠慮なく、下記にご連絡下さい。

〒770-8051

徳島市沖浜町北畑536-2-901

TEL 088-678-6788

E-mail tunapapa_22@yahoo.co.jp

来週（21日）を最後に、
お別れする先生方からの言葉です

幼稚園部宙組 スミス 麻紀子

本日はご卒園、ご卒業、おめでとうございます。

この度、補習校を退職することになりました幼稚園部宙組担任のスミス麻紀子です。

今はただ可愛い子ども達との楽しい思い出ばかりが蘇ってきます。子ども達へ教える事で、私自身が子ども達から学んだことが大変多かった、とても貴重な6年間でした。至らない点も多く、保護者の皆様には色々ご迷惑、ご心配をお掛けした事と思いますが、いつも心温かく幼稚園部、そして宙組をご支援下さいました事、心より感謝すると同時にお礼申し上げます。



また「教員」という仕事の素晴らしさをいつも丁寧

にご指導下さいました松本校長先生を始め、諸先生方へもこの場を借りてお礼申し上げます。

たくさんの笑顔、幸せを与えてくれた幼稚園部の子ども達、現地校と補習校との両立で大変な事もあることと思いますが、これからも素直で優しい心、学ぶ心を持ち続け、一生懸命頑張って貰えればと願っております。6年間、本当に有難うございました。

幼稚園部月組 澤田 紀美代

本日は、卒園、卒業おめでとうございます。

去年の4月より可愛い幼稚園の子ども達と過ごし、あっという間に時が過ぎてしまいました。

子ども達に教える難しさ、又、自分自身が学ばなければいけない事の発見など、多くの経験をさせて頂きました。

保護者の方々や校長先生をはじめ諸先生方に支えられ、無事に一年間終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

高等部 SAT 担当 金澤 愛

8ヶ月間という短い期間でしたが、高校生の皆さんと一緒に SAT (英語) を勉強することが出来たのは私にとっても貴重な経験となりました。

積極的に授業に参加してくれた生徒の皆さん、本当にありがとう。現地校の勉強で忙しい中、頑張って宿題をやり遂げてくれた生徒の皆さん、お疲れ様でした。校長先生始め、教員・事務、そして保護者の皆様には色々お世話になり、感謝の気持ちで一杯です。

今後もヒューストン日本語補習校がますます発展することを願っております。

小学部2年A組 藤滝 香織

一年間という短い間ではありましたが、保護者の皆様、一人ひとりの先生、事務の方、そして子ども達に本当に支えられてきました。心からお礼申し上げます。今はもう子どもたちの顔が毎週見られなくなると思うと、本当に寂しい気持ちでいっぱいです。この一年は子ども達の成長に驚かされ、今では子ども達を頼もしく思っています。そんな貴重な時間を一緒に過ごすことができ、感謝しています。

補習校で土曜日にしか会えなかった子どもたちですが、4月に会ってからはずっと頭から離れることがありませんでした。日本から遠く離れているここヒューストンで、苦労しながら日本語の学習に一生懸命に取り組んでいる子どもたち。そしてそれを支える保護者の方々や先生。大変な学習でも目を輝かせていることがあったり、休み時間やお昼にはたくさんお話ししたり、一度鬼ごっこに参加してつまずいた時には気遣ってくれました。

自信を持ってこれからも日本語の学習を続けて下さい。補習校からは離れますが、いつでも応援しています。それではまた会える日を楽しみにしています。それまでさようなら。

小学部2年B組 高田 益美

今年度で、教員としてヒューストン補習校を退職することになりました。

あつと言う間でしたが、15年間も多くの生徒、そのご兄弟、保護者に出会い、支えられ、毎年担任ができたことを感謝いたします。

初年度は、現地校と補習校で勉強を続けている生徒達に感心して、先輩諸先生方のできばきご指導する姿を見て、いつになったらあのように的確に助言などができるのかと思悩んだものです。毎週、生徒達が宿題で苦しんでいるように、授業の準備などで計画通りいかず、前日まであれやこれやと迷っていたのも度々でした。一度担任をした生徒は、忘れることがありません。何年経っても気になるもので、補習校で会えたり消息を聞いたりするとうれしいものです。補習校生活を有意義に過ごされ、よい友人、思い出を作ってください。

保護者の方々には、ご助言、ご協力をいただき本当にありがとうございました。

退職しましても、補習校の皆さんの活躍を見たり聞いたりすることを楽しみにしております。

◆パトロール当番予定表 3月21日◆

学年	順位	児童生徒氏名	
★AM1リーダー	小1	4	チャン・ラ 龍
	2	13	阿部 慎太郎
	3	15	須田 遥希
	4	16	本多 紗良
	5	17	杉谷 胡桃
	6	18	岩崎 小晴
	7	19	松木 隆也
★PM1リーダー		21	薄 敬太
	2	22	頗羅田 凧沙
	3	20	高橋 翔馬
	4	5	川西 大貴
	5	7	升谷 理子
	6	8	三村 飛勇我
	7	23	原 海聖

<転出>

田口 栞さん (小4 A) 岩本沙英さん (小3 A)
岩本郁人君 (小6 A)

<21日転出>

原津侑大君 (幼星) コールディング ライツ君 (幼星)
ダグラス ディラン君 (幼星) 鈴木 亨君 (小1 B)
吉田千紘さん (小2 A) 原津拓巳君 (小3 B)
吉田崇志君 (小6 A) 王子悠生君 (小6 A)
ブローガンアレックス (小6 B) ブローガンエバン (中3)

3月7日までに転出届けを受理した人たちです。たくさんのお友だちとお別れです。補習校に通ったことを誇りに思いながら、現地校の学習、日本での学習に勤しんでください。お元気で、さようなら。

3月21日(土)は通常授業になります。